

2 決算額と主な事業（一般会計）

【 】内は歳出全体に占める割合

民生費 32億4,455万円【34.5%】 福祉サービス、各種医療の助成など 【主な事業】 保育所等運営費 8億6,314万円 障害者等への支援費 4億4,364万円 老人福祉費 5億1,591万円 児童手当支給費 2億7,561万円 地域包括支援センター費 6,818万円 子ども妊産婦医療費 4,722万円	教育費 7億8,640万円【8.3%】 小中学校の運営、文化財保護、スポーツの振興など 【主な事業】 小学校管理費 2億2,241万円 中学校管理費 1億1,807万円 公民館管理運営費 6,836万円 北アルプス文化センター管理費、自主文化事業費など 4,413万円 図書館管理運営費 3,208万円 （絵本室運営費含む） スポーツ振興費 821万円	土木費 13億4,585万円【14.3%】 道路、公園整備、住宅管理など 【主な事業】 道路新設改良費 1億947万円 （上市スマートインターチェンジ(仮称)測量費など） 除排雪対策費 1億9,980万円 稗田町営住宅老朽化対策事業費 4,901万円 丸山総合公園管理費 6,204万円
総務費 8億9,697万円【9.5%】 町の事務管理、庁舎管理、選挙など 【主な事業】 情報管理費（共同型クラウドサービス使用料など） 1億2,076万円 財産管理費（庁舎維持管理費など） 9,377万円 企画費（移住交流促進事業費など） 3,022万円 防災対策事業費（自主防災組織資機材整備等助成など） 1,168万円	衛生費 9億9,901万円【10.6%】 保健衛生、ごみ処理、環境保全など 【主な事業】 ごみ処理費 1億8,593万円 予防事業費（予防接種など） 6,248万円 がん対策事業費 2,632万円	農林水産業費 3億9,114万円【4.2%】 農林業や水産業の振興など 【主な事業】 農地費（農道・水路整備など） 5,825万円 林道整備事業費 5,197万円 農業振興費（特産品振興助成など） 4,233万円 林業振興費（林道維持管理など） 3,558万円
消防費 3億1,155万円【3.3%】 消防や救急活動など 【主な事業】 常備消防費 2億5,696万円 （県東部消防組合負担金など） 消防団運営費 3,478万円	商工費 3億878万円【3.3%】 町の商工業や観光の振興など 【主な事業】 商工振興費 2億475万円 （まちなか交流プラザ等運営費） （創業支援事業費など） 観光費 5,462万円 （観光協会運営補助） （フォトロゲイニング大会開催費など）	公債費 9億8,755万円【10.5%】 町債（借入金）の返済 その他 1億4,053万円【1.5%】 議会費、労働費、災害復旧費 【主な事業】 雇用創造事業費 260万円 （はたらくらすコネクション事業費など） 働く婦人の家管理運営費 574万円

3 財政健全化判断比率の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、平成29年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率について公表します。平成29年度決算に基づき算定した健全化判断比率および資金不足比率は、いずれも法律で定められている基準（早期健全化基準、財政再生基準、経営健全化基準）を下回っています。今後も引き続き健全な財政運営に努めてまいります。過去の比率の推移、早期健全化基準などの詳細については、町ホームページをご参照ください。

区分	健全化判断比率 ※赤字が生じない場合は「-」で表示			資金不足比率 ※資金不足がないため「-」で表示		
	29年度	28年度	差引	早期健全化基準	財政再生基準	経営健全化基準
実質赤字比率	-	-	-	14.31%	20.00%	20.0%
連結実質赤字比率	-	-	-	19.31%	30.00%	
実質公債費比率	15.1%	14.5%	+0.6%	25.0%	35.0%	
将来負担比率	118.6%	131.7%	△13.1%	350.0%		

用語解説	実質赤字比率 一般会計等の赤字の程度を指標化したもの 連結実質赤字比率 全ての会計の赤字・黒字を合算し町全体としての赤字の程度を指標化したもの 実質公債費比率 借金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し資金繰りの程度を示したもの 将来負担比率 一般会計等の借金や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高を指標化し将来にわたる負債の程度を示したもの 資金不足比率 公営企業の資金不足額を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化したもの
-------------	--

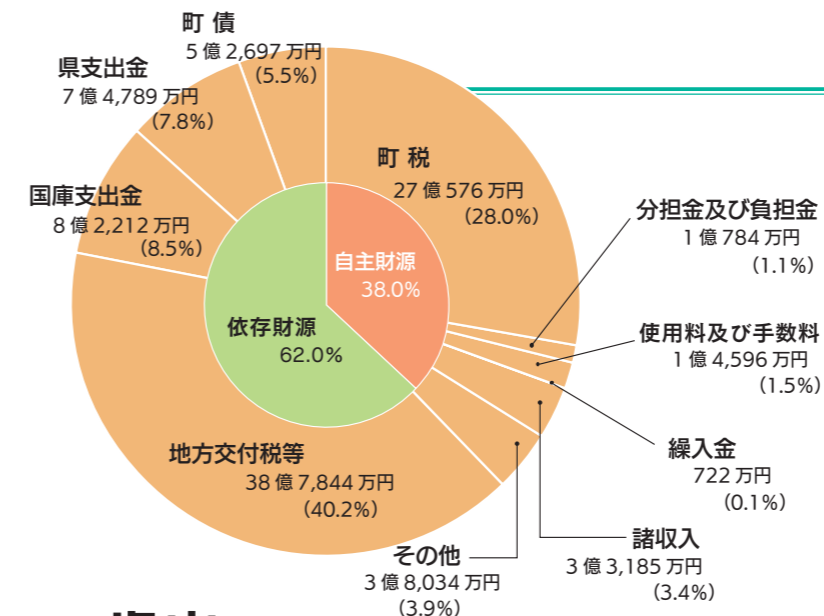
平成29年度 決算報告

町では、決算ならびに予算の執行状況について公表し、町財政の実態をご理解いただくとともに、限られた予算でどのような事業を行っているか報告しています。

お問い合わせ 財務課財政班 ☎内線 161

1 一般会計 歳入・歳出

平成29年度の一般会計決算額は、歳入が96億5,439万円で前年度に比べて1億226万円の減（△1.0%）となりました。また、歳出は94億1,233万円でこちらは1,472万円の増（+0.2%）となりました。



歳入総額

96億5,439万円

対前年度比 1億226万円の減（△1.0%）

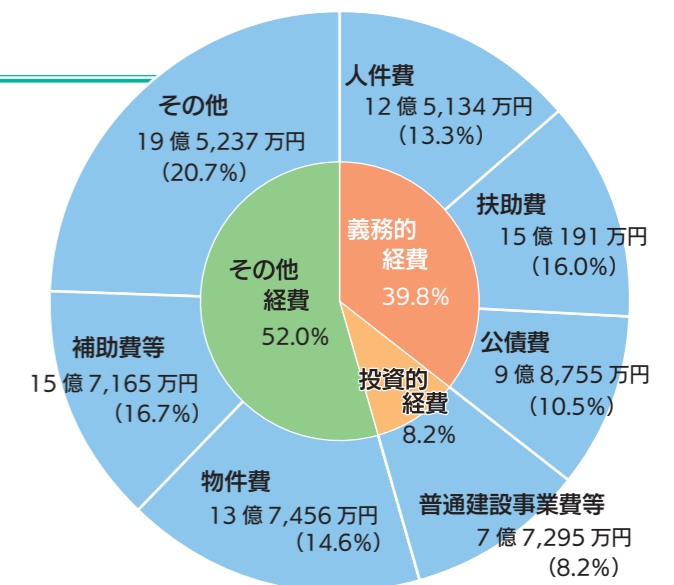
歳入では、特別養護老人ホーム建設に係る補助金の増などにより県支出金で2,649万円の増、前年度繰越金で9,926万円の増となった一方、法人町民税の減収などに伴い町税で1,398万円の減、地方交付税で1億8,338万円の減、事業の繰り越し、借入れの抑制などにより町債で2,106万円の減となりました。

歳出総額

94億1,233万円

対前年度比 1,472万円の増（+0.2%）

歳出では、公立保育所（2カ所）の民営化による運営費の減などにより物件費で1億5,376万円の減、中新川公共下水道事業負担金の一部出資金への振り替えなどに伴い補助費等で1億5,702万円の減、職員数の減により人件費で5,171万円の減となった一方、私立保育所運営委託料、障害者自立支援給付事業費などの増により扶助費で1億2,183万円の増、上市中学校体育館大規模改修の実施、特別養護老人ホーム建設に対する補助などに伴いその他の経費で2億2,917万円の増となりました。



用語解説

自主財源	自主的に収入する財源。町税、使用料及び手数料、分担金及び負担金、繰越金など	人件費	職員の給料、議員の報酬など
義務的経費	人件費、扶助費など支出が義務付けられた経費	扶助費	各種福祉サービスや児童手当、医療費助成などの費用
投資的経費	道路や建物などの建設事業費や用地の購入費、災害復旧費など	公債費	町債の返済費用
地方交付税	所得税などの国税の中から一定の基準により国が交付するもの	物件費	臨時職員などの賃金や旅費、消耗品費、光熱水費、委託料、使用料など
		補助費等	各種団体への補助金や交付金、保険料など

6 基金

会計名	平成29年度末現在高
一般会計	24億3,724万円
特別会計(合計)	3億3,057万円
企業会計(合計)	3,877万円
合計	28億658万円

7 町債

会計名	平成29年度末現在高
一般会計	86億7,281万円
特別会計(合計)	30億2,267万円
企業会計(合計)	53億1,802万円
合計	170億1,350万円

8 財産

町有財産の平成29年度末現在高

会計名	土地	建物	有価証券	出資証券等
一般会計	994,315㎡	126,977㎡	3億7,706万円	3,998万円
特別会計(合計)	36,513㎡	518㎡	—	—
企業会計(合計)	35,221㎡	20,379㎡	—	—
合計	1,066,049㎡	147,874㎡	3億7,706万円	3,998万円

平成30年度 会計別 予算執行 状況

平成30年度予算の4月から7月末までの執行状況をお知らせします。

【一般会計】

予算現額	歳入		歳出	
	収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
102億8,028万円	31億3,288万円	30.5	22億8,932万円	22.3

【特別会計】

区分	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
土地取得事業	300万円	303万円	100.8	0万円	0.0
墓地公園事業	633万円	318万円	50.2	6万円	0.9
地域開発事業	2,732万円	12万円	0.4	13万円	0.5
農業集落排水事業	1億6,370万円	1,051万円	6.4	617万円	3.8
下水道事業	5億5,517万円	1,744万円	3.1	1,578万円	2.8
後期高齢者医療事業	5億9,047万円	6,192万円	10.5	1億261万円	17.4
国民健康保険事業	21億6,276万円	5億2,738万円	24.4	3億9,789万円	18.4

【企業会計】

区分	収入			支出			
	予算現額	収入済額	収入率(%)	予算現額	支出済額	執行率(%)	
水道	収益的	4億1,475万円	9,390万円	22.6	4億1,475万円	3,341万円	8.1
	資本的	1億6,748万円	223万円	1.3	3億7,022万円	162万円	0.4
病院	収益的	36億429万円	11億8,571万円	32.9	40億276万円	10億570万円	25.1
	資本的	2億6,951万円	0万円	0.0	5億2,141万円	789万円	1.5

【町有財産】

	土地	建物	基金	有価証券	出資証券等
一般会計	994,331㎡	126,977㎡	24億3,972万円	3億7,706万円	3,998万円
特別・企業会計	71,734㎡	20,897㎡	5億1,940万円	—	—

【町債・一時借入金残高】

	一般会計	特別会計	企業会計
町債現在高	86億6,936万円	30億2,267万円	53億1,802万円
一時借入金現在高	—	—	—

※平成29年度予算の最終執行状況については、町ホームページに掲載しています。

4 特別会計

平成29年度の特別会計の合計決算額は、前年度と比べて、歳入で9,285万円の増、歳出で8,582万円の増となりました。歳出が増となった主な要因は、後期高齢者医療事業特別会計における療養給付費等負担金の増などによるものです。

特別会計の歳入歳出決算額

会計名	歳入	歳出	差引
土地取得事業	303万円	0万円	303万円
墓地公園事業	765万円	552万円	213万円
地域開発事業	25万円	13万円	12万円
農業集落排水事業	1億5,433万円	1億4,977万円	456万円
下水道事業	3億1,034万円	3億158万円	876万円
後期高齢者医療事業	5億8,774万円	5億8,325万円	449万円
国民健康保険事業	26億5,779万円	25億7,055万円	8,724万円
合計	37億2,113万円	36億1,080万円	1億1,033万円

5 企業会計



水道事業

■業務の概況

- 給水戸数▶7,631戸(対前年度比△9戸)
- 給水人口▶18,746人(対前年度比△165人)
- 年間総配水量(水源地から送出された水量)▶2,464,999㎡(対前年度比+3.1%)
- 年間有収水量(水道料金の対象となる水量)▶1,988,726㎡(対前年度比+1.9%)
- 1戸当たり1か月の使用水量(事業所など含む。)▶22㎡(対前年度比+4.8%)

平成29年度の水道事業決算額は、収支差引4,523万円の黒字となり、前年度と比べて黒字額は283万円の減となりました。資本的収入が資本的支出に不足する額3億100万円は、過年度分損益勘定留保資金1億4,471万円、当年度分損益勘定留保資金1億1,505万円、建設改良積立金2,000万円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,124万円で補てんしました。

区分	収入	支出	差引
収益的収支	3億8,208万円 (前年度3億8,959万円)	3億3,685万円 (前年度3億4,153万円)	4,523万円 (前年度4,806万円)
資本的収支	9,726万円	3億9,826万円	△3億100万円



病院事業

■利用状況

- 入院 51,923人(対前年度比+10.4%)
- 外来 113,474人(対前年度比△2.0%)
- 上位3科目▶内科 24,252人
- 上位3科目▶内科 40,150人
- 整形外科 13,187人
- 整形外科 26,770人
- 神経精神科 11,212人
- 神経精神科 11,065人

平成29年度の病院事業決算額は、収支差引1億9,735万円の赤字となり、前年度と比べて赤字額は9,037万円の減となりました。収入については、入院・外来収益などが増収となり、全体で1億8,721万円の増となりました。一方、支出は、給与費における時間外勤務手当などの増、光熱費および燃料費の高騰による増、設備の法定検査および給食調理業務に係る委託料の増などにより、全体で9,684万円の増となりました。

資本的収入が資本的支出に不足する額2億2,979万円は、過年度分損益勘定留保資金2億2,930万円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額49万円で補てんしました。

区分	収入	支出	差引
収益的収支	36億4,409万円 (前年度34億5,688万円)	38億4,144万円 (前年度37億4,460万円)	△1億9,735万円 (前年度△2億8,772万円)
資本的収支	2億3,575万円	4億6,554万円	△2億2,979万円